

Supernovae in the Gravitational Wave Detection Era 参加報告

博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成 報告書

2023年2月26日

総合文化研究科広域科学専攻 修士1年 川下大響

この度、「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」による支援を受け、オーストラリア・メルボルンにある Swinburne University of Technology^{*1}にて2022年11月28日から同年12月2日にかけて開催された研究集会「Supernovae in the Gravitational Wave Detection Era」^{*2}に参加した。

研究集会では「The relation between $^{12}\text{C}(\alpha, \gamma)^{16}\text{O}$ rate and the synthesis of radioactive nickel in pair-instability supernovae」の題で研究発表を行った。本研究成果についてはこれ以前に国内の研究会でのみ発表しており、また論文も未発表のため、本研究会が海外の研究者に向けて本研究成果を発表する初の機会であった。発表後、本研究成果に関心を寄せてくださった参加者と議論し、重要な示唆・知見・指摘を得ることができた。また、他の研究発表も非常に興味深く、今後取り組むべき新たな研究課題の開拓に繋がったものもあった。

今後、こういった研究会に多く参加することになると思うが、その価値を早い段階で認識できるいい機会であったと感じている。



図 1: 被助成者が研究発表を行っている様子

^{*1} <https://www.swinburne.edu.au/>

^{*2} <https://sites.google.com/monash.edu/supernova2022/home>